

ASOCIO Digital & AI Summit 2026 ジャカルタ 参加報告

【日程】2026年10月5日(月)～10月7日(水)

【会場】Swissôtel Jakarta PIK Avenue(インドネシア・ジャカルタ)

【主催】ASOCIO／APTIKNAS(インドネシアICTビジネス協会)

2026年10月5日(月)～7日(水)

ASOCIO Digital & AI Summit 2026 概要



ASOCIO Digital & AI Summit 2026は、アジア・オセアニア地域の政府、ICT業界団体、企業・有識者が集まり、デジタル経済とAIの将来を議論する年次会合として開催された。

10月5日に第42回ASOCIO総会、6日にDigital Summit、7日に初開催のAI Summitを実施した。全体テーマは「Digital Asia in Action: Building Trusted, Sovereign, and AI-Ready Economies」。デジタル基盤、サイバーセキュリティ、AIの産業実装、ガバナンス、人材育成などを取り上げた。

JISAからは15名が参加し、各国・地域の関係者との情報交換とネットワーキングを行った。



10月5日(月)

第42回ASOCIO総会

Swissôtel Jakarta PIK Avenueにおいて、第42回ASOCIO総会が開催された。年間活動、財務、委員会活動、今後の主要イベント、規約改定等について審議し、2027～2028年の役員選挙を実施した。選挙ではStan Singh-Jit会長が再選され、前期の役職者の多くも再選されるなど、概ね従前の体制を継続する形となった。

JISAからは、福永哲弥会長、富安寛副会長・国際委員長、高簾淳副会長・専務理事、川本淳也国際副委員長、佐藤美雪氏、田中雅人氏、白川寛史氏、内島雄貴(事務局)の8名が出席した。

総会では、アジア・オセアニア地域における連携強化と今後の活動方針を確認するとともに、ウズベキスタンからの新たなグローバルパートナーを迎えた。

また、2027年のASOCIO Digital & AI Summit についてはミャンマーのヤンゴンで開催されることが決まった。



10月6日(火)

ASOCIO Digital Summit 2026

「デジタルトランスフォーメーションの加速:安全で、強靱かつつながるデジタル経済の構築」をテーマに、デジタル政策、産業変革、サイバーセキュリティ、デジタル基盤を巡る講演・パネル討議が行われた。

開会式ではASOCIOのStan Singh-Jit会長が、加盟国・地域が制度や市場の違いを越えて協力し、信頼できるデジタル経済を構築する重要性を強調した。

インドネシアのアグス・ハリムルティ・ユドヨノ(AHY)インフラ・地域開発調整大臣は「AI時代のインフラ」をテーマに講演した。交通などの物理基盤に加え、通信網、クラウド、データセンター等のデジタル基盤、さらに安定した電力供給を一体として整備する必要性を示し、AIの利用拡大を支えるには地域間の接続性や包摂性も重要になると説明した。

討議では、AIを用いた攻撃、自律型エージェント、クラウド依存、デジタルID、越境データ流通などによりリスクが複雑化しているとの認識を共有した。サイバーセキュリティを情報システム部門だけの課題とせず、事業継続、デジタル主権、投資判断に関わる経営課題として捉える必要があるとの意見が示された。

また、各国のデジタル化を市場拡大や技術移転、人材育成につなげるため、官民連携と域内協力を強化する方向性も確認された。安全性と相互接続性を確保しながら、企業や行政がデジタル技術を継続的に活用できる基盤を整えることが、今後の競争力を左右するとの示唆が得られた。



Stan Singh-Jit ASOCIO会長による挨拶

10月6日(火)

JISA主導のPTFレポートを発表

川本淳也JISA国際副委員長が委員長を務めるASOCIO Policy Task Force(PTF)が取りまとめた「ASOCIO Regional Cyber Resilience & Maturity Study 2026」を、Digital Summitの開会式後に正式発表した。

本調査は25の国・地域を対象に、域内のサイバーセキュリティ成熟度と課題を整理したもの。組織調査では21の国・地域から回答を得て、AIリスクを今後24か月の主要懸念とする回答が61.9%、経験した攻撃にランサムウェアを挙げた回答が33.3%、AIを用いたフィッシングまたはディープフェイクによるなりすましが30.5%となった。

JISAが主導した成果を地域全体へ発信し、サイバーレジリエンス、デジタルへの信頼、国・地域を越えた協力の強化につなげる重要な機会となった。

なお、同レポートは下記URLより閲覧可能である。

<https://www.jisa.or.jp/Portals/0/resource/news/1540/705.pdf>



10月7日(水)

初開催のASOCIO AI Summit 2026

初開催のAI Summitは、「AI Beyond Hype:産業・教育・行政・社会の変革」をテーマとし、AIを試行段階から実装へ移し、測定可能な成果につなげる道筋を議論した。

企業経営者、政府関係者、研究者、技術企業が参加し、AIの可能性だけでなく、導入時に生じる制度、データ、セキュリティ上の課題も共有した。

講演・パネル討議では、製造業などにおける産業AI、行政サービスとGovTech、FinTech、HealthTech、EdTech、スマートシティ等の応用領域を取り上げた。クラウド、データセンター、計算資源、通信、エネルギーを含むAI基盤の整備と、現場でAIを使いこなす人材の育成を同時に進める必要性が示された。

責任あるAIの観点では、透明性、説明責任、プライバシー、サイバーセキュリティを確保し、利用者と社会の信頼を得ることが実装拡大の前提になるとの認識が示された。市民や従業員のAIリテラシーを高め、経営層が利用目的とリスクを明確にした上で、効果を検証しながら導入範囲を広げることの重要性も共有された。

最終日には、優れたデジタル変革・AI活用を顕彰する表彰、受賞企業・団体によるPitch & Networkingを実施した。さらに、2027年開催地を担うミャンマーのMCIAへの引継ぎと参加者交流が行われ、域内の知見共有と協力を継続する機会となった。

